

様式第6号（第6条関係）

（表）

政務活動費収支報告書

令和8年 4月 24日

明石市議会議長

国出 拓志 様

会 派 名 スマイル会

代 表 者 名 家根谷 敦子

経理責任者名 家根谷 敦子

明石市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、下記のとおり令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

（単位：円）

科 目	決 算 額	摘 要
政務活動費	960,094	（預金利息 94円含む）

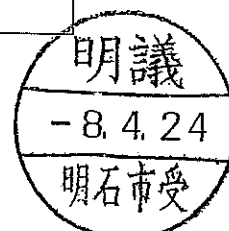
2 支出

（単位：円）

科 目	決 算 額	摘 要
研究研修費	507,530	視 察 等
資料作成費	72,263	会派室コピー機使用料
資料購入費	550	書 籍 代
広報広聴費	3,500	手話通訳者謝金
要請・陳情活動費		
会 議 費	7,000	手話通訳者謝金
人 件 費	26,000	事務員への謝金
通信運搬費	37,521	会派室電話代
備 品 費	208,000	会派室コピー機リース代
消耗品費	63,272	文房具・事務用品等
計	925,636	

3 収支差引額

34,458 円



(裏)

4 活動の成果

本年度の政務活動費につきましては、会派室の電話代、コピー機使用料等の運営経費に加え、各種行事や総会における手話通訳者への謝金等に充当し、円滑な活動の推進に努めてまいりました。また、フォーラムや大会への参加を通じて政策課題の把握と知見の向上を図り、市政への反映に資する調査研究を実施いたしました。

「障害者の自立と政治参加をすすめるネットワーク田辺大会」に参加し、各地の障害当事者議員による課題や先進事例について知見を得ました。公共施設整備における当事者参画やユニバーサルデザインの推進などは、本市にとっても有益な示唆となるものでした。また、岐阜市の自動運転バスの導入や、各自治体における補聴器助成制度の取組などについても理解を深めました。さらに、障害者児の防災対応や自主防災組織の取組、カラーユニバーサルデザインの普及、手話を活用した取組など、多様な分野における実践事例を学びました。加えて、デジタル技術の活用による防災対応やインフラ管理の高度化など、行政運営の効率化に資する取組についても知見を得ました。これらの調査研究を通じ、障害者施策については、バリアフリーにとどまらず、ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりの重要性を再認識いたしました。今後とも得られた知見を踏まえ、本市の施策へ適切に反映してまいります。